

ご意見募集！

広報誌をより良くしていくためにみなさんからのご意見を募集しています。ご意見をお送りいただいた方の中から抽選で3名様に日南町の特産品をプレゼントいたします。

送り先：〒689-5292 日南町役場 企画課 広報担当

手紙、はがきに①住所②お名前③電話番号④ご意見・ご感想をご記入の上、企画課まで郵送またはお持ち込みください。みなさんからのご意見お待ちしております！（※メールでは受けつけておりませんのでご注意ください。）

今月の
表紙

「地域で守り続けていきたい 伝統の舞」

11月号は、山上地域で巫女舞の保存活動を行っている「山上子供巫女舞の会」についてご紹介します。



●写真上段：鈴の舞

長谷川和奏さん・北垣天花さん・石原妃菜さん・北垣風さん

●写真下段：扇の舞

長谷川弥咲さん・北垣蘭さん・長谷川悠音さん・財原万歩さん

やまがみ こども みこまい 山上子供巫女舞の会

笠木にある日谷神社において巫女舞を奉納するため、平成10年に結成。子どもの減少により一時は活動が途絶えていたが、平成29年に活動を再開した。現在は、小学2年生から中学3年生までの子どもたちが活動に参加している。

文化の継承と地域の活性化のため、神社だけではなく地域の文化祭等での発表も行っている。また、伝統文化に触れ、体験するこの活動は、子どもたちが礼儀や作法などを習得する機会にもなっている。

今年は10月15日に行われた日谷神社の秋季大祭において巫女舞を奉納し、清々しい秋晴れの中、清らかな鈴の音を響かせた。

日谷神社では、山の上小学校が閉校となった平成19年までは、子供神輿や巫女舞などの奉納が行われにぎやかな秋季大祭が行われていました。しかし、小学校統合とともに子どもの数も減少し、神輿や巫女舞も消滅してしまいました。

その後10年の歳月を経て、以前行われていた巫女舞を見てきた保護者の中から「巫女舞を復活できないか」という声が上がリ、平成29年に山上地域全体の小中学生を集め巫女舞を復活させました。当時の子どもたちは巫女舞を見たこともなく知らないという子どもがほとんどでしたが、舞ってみたいという声が多く上がりました。以来、子どもたちの世代交代をしながらも毎年活動が続け、今年で復活から6年目を迎えました。

現在、町内で巫女舞の奉納が行われているのは、わずか数社のみです。指導にあたった石見神社の相見幹彦宮司は、「子どもの舞があるとお祭りがにぎやかになる。子どもたちのご家族が来てくれ、昔を懐かしんでもらえる」と話していました。

うらやす まい 浦安の舞

「浦安の舞」は、昭和15(1940)年に行われた「皇紀二千六百年奉祝会」に合わせ、国風歌舞や全国の神社に伝わる神楽舞を基に作られた神楽舞。現在も全国の神社の神賑行事で舞われている。前半の「扇の舞」と後半の「鈴の舞」から成り、装束に身を包んだ巫女が囃子にあわせて舞い踊る。

昭和8年(1933)年の昭和天皇御製「天地の神にぞ祈る朝なぎの海のごとくに波たため世を」が歌詞となっており、「波のない穏やかな平和を天神と地神に祈る」という思いが込められているとされる。

